

事業所職員向 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	職員からの意見など	課題・改善点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	29	3	0	・クラスによっては、人数のばらつきがあり、職員＋子ども達が利用するには、狭いところがある。	・活動内容や子どもをグループに分けるなど工夫していきます。 ・人数に応じたクラス利用ができる様考慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	27	4	1	・日によって異なる。 ・子ども達の見守りが十分になるよう適切な配置をして下さっている。 ・子どもの特性を考えると、職員1人に対して子ども3人は難しい配置数になる。 ・多いと感じる。	・日によって職員の配置数に差があり、個々のニーズに沿った支援ができない時もあり、十分な職員が配置されているといえない日や逆に配置人数が多く、手厚すぎる日もあり、子どもの力を最大限に引き出せない事もある為職員の人数が少ないと分かっている日は前日ではなく、前もって職員の出勤日調整を行い、逆に職員が多い日の活動内容については十分に子どもの力が発揮できる様に心掛け、活動に取り組んでいきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	26	4	2	・子どもによっては、視覚的に分かりやすくしていく工夫も必要かなと思う。 ・スヌーズレンの部屋があると個々の特性に対応できると思う。 ・2Fの多目的室のオモチャは分かりやすくして良いと思う。 ・子ども一人ひとりに応じた配慮がされている。 ・年齢によるクラス分けの活動が多く、特性に応じての活動は少ない。 ・共有スペースでの混雑や、遊戯室の音の反響について対策を講じる必要がある。	・ガイドラインに示されているような、昼食やおやつを摂れる空間、静かな遊びのできる空間、年齢に応じて更衣のできる空間の確保等について、毎週のクラス会議において検討していきます。 ・多目的室や遊戯室の大きな部屋の音の反響を少しでも軽減する必要があるため、環境整備が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	31	1	0	・清潔であるが、音が反響しやすい。 ・衛生面、清潔を保つ為の意識づけは日々行われていると思う。支援と同じくらい重要な要素のひとつとなっていると思う。 ・消毒の徹底と習慣化。	・日々の新型コロナウイルス感染症対策。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	32	0	0	・介助員と正職員が定期的に情報共有や振り返りを行っている。	・クラス会議に参加出来なかった職員への情報共有の徹底方法について。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	32	0	0	・年一回実施し、保護者等のご意見を今後の支援や対応に活かす態勢がしっかりとれていると思う。	・パート職員との情報共有に努めていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行なうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	31	1	0		・実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	27	3	2		・第三者による外部評価は実施していません。 ・パート職員との情報共有に努めていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	32	0	0	・十分かどうかは分からないが、多くの研修の機会を持っている方だと思う。 ・職員に応じた研修を受けられている。	・研修を受けられていない職員もいる。 ・資格や経験のあるパート職員が多く勤務しているが、平均的に資質を上げられる様研修の機会を確保し、情報の周知に努め職員の資質の向上に取り組んでいきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	32	0	0	・保護者のニーズと子どもの課題には、誠実に向き合っていると思う。その状況に応じて適切な対応をしていると思う。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25	3	4	・わかりません。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32	0	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	0	1	・子どもそれぞれに応じた支援を心掛けている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	31	0	1		・活動プログラムを決める際職員間での相談ができていない事もある。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	28	3	1	・複数で作成している。 ・前年度の活動内容から工夫して考えている。 ・固定化してしまっていると感じる。	・固定化してしまっている活動については、検討が必要である。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	29	3	0	・集団活動が多く、個別の活動は時間が取れない。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	30	2	0	・ホワイトボード等を使って打ち合わせを行っている。	・時折出来ない日がある為時間を工夫し、情報共有に努めていく。 ・朝の通園バス添乗担当になった際は添乗後すぐに活動に入る事になる為前日に確認をするようにしていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	24	5	3	・毎日時間的に無理ですが、水曜日のクラス会議の時に話し合いは持っている。 ・掃除の際に今日の子どもの様子や気づいた点を話す事はしている。 ・日々の振り返りの時間は無い。	・振り返りの時間が足りない。 ・夕方の通園バス添乗や延長保育担当の職員がいる為毎回ではできない。 ・クラスごとに違いはあるが、正職員とパート職員間で必ず毎日打ち合わせはできない事がある為改善及び工夫が必要である。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	32	0	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	32	0	0		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	29	0	3		・パート職員にも情報の共有を行っていく。	
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	31	0	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか	／	／	／		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	／	／	／		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	29	2	1	・情報共有を行う。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	31	0	1		
	27	他の児童発達支援センターや発達障害者支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	30	1	1	・受けているが少ない。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	24	3	・コロナの前は行っていたが、今年度はコロナの影響で難しかった。 ・コロナの状況が落ち着けば、試みてほしいと思う。	・個別で幼稚園等に通い交流を実施している。 ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から園庭開放への参加の機会を設けることはできませんでした。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	15	11	6	・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、出来ない。	・会議内容により、相談支援専門員又は児童発達支援管理責任者が会議に参加しているが、他職員に対して会議の内容報告まで出来ていない為会議の情報共有を今後行っていきます。 ・会議に参加したことのない職員の参加についても今後検討していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	31	0	1		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	23	4	5	・ペアレント・トレーニングとまではいかなくとも、保護者に対して具体的な提案を行い、実行している。 ・保護者向け講習会がある。	・家族支援への課題が大きく、助言できることを職員間で話し合い、職員のスキルアップが必要である。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	30	0	2		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	29	0	3		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	31	0	1	・日々の送迎時や保護者懇談会、電話でのご相談時において、真摯に向き合っている。	
	35	父母の会の活動を支援支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	30	0	2	・コロナ禍でできない時もあった。 ・十分な回数ではないが、定期的に保護者交流会を実施している。 ・コロナ禍では、十分には行えない為、可能な形を模索する必要があると思う。	・現場の職員が、より保護者交流会に参加できる様保護者交流会の実施方法や実施時間帯等について、検討が必要である。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	0	1	・可能な限り迅速な対応を行っていると思う。	・相談や申し入れがあった際には迅速に対応出来るように今後も心掛けていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	30	1	1		
	38	個人情報に十分注意しているか	31	0	1		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	31	0	1	・真摯に向き合う姿勢、空気感是十分であると思うので、経験を豊富に積み続けていくのみだと思う。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	17	8	7	・検討はされていたが、コロナ禍の為断念した1年だった。	・地域の福祉ニーズに応じた地域貢献活動に取り組んでいきたいと考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	30	0	2	・ある程度整っているが、さらに実地訓練の必要性はあると思う。	・避難訓練の時間帯を給食時や登園後直ぐ等に時間を変えて実施する必要がある。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	29	1	2	・すべて行なっているわけではない。 ・定期的な面では十分。 ・よりリアルな想定で、訓練の内容も精査する必要があると感じる。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	30	0	2	・情報の確認と、全体への情報共有を行う。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	31	0	1		・担当しているクラス以外の対象児についての情報共有を徹底していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	30	1	1	・朝礼等で共有している。 ・ヒヤリハットをどうすれば避けられるかを、日々意識して過ごすよう声掛けがあるが、日々ヒヤリハットが発生する為、難しい課題だと思う。	・ヒヤリハットを未然に防ぐための工夫が必要である。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	30	1	1	・研修を受けられない勤務の人もいる。	・毎月「業務等のセルフチェックリスト」にてセルフチェックを実施しているが各職員がチェックした事を詳しく検証するまでは至っていない為日々のセルフチェック内容を検証し、支援に繋げていきたいと思います。 ・研修に参加できなかった職員へのフォローの徹底方法について、検討が必要である。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	27	2	3		・契約時に十分な説明は行っているが支援計画書への記載はできていない。